

松江市立天文台～5月の天文教室～

2014年5月21日

日の入りが遅くなり、午後8時になっても空には少し明るさが残っています。そんな薄明かりの中
でも意外と簡単に見つかる明るい星のなかに、木星、火星、土星といった惑星たちがあります。

3つの惑星を同時に見比べる機会はそう多くはありません。天体望遠鏡で色や形の違いを楽しんで
ください。

5月下旬午後9時頃の星



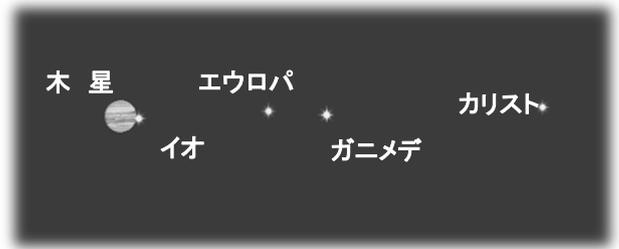
5月下旬の午後9時頃の星空です。

木星、火星及び土星の位置は5月21日のものですが、実際のみかけの大きさとは異なります。

星座を探すには、見たい方角を向き星空の図の方角を下にします。たとえば、東の方角を向いて、図の東を下にして
見ると探しやすくなります。

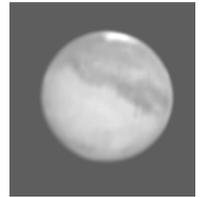
★木星

木星は、太陽系最大の惑星です。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)の位置を観察できます。
4大衛星は日によって位置が変わり、木星の周りを回っているのが観察できます。



★火星

地球のすぐ外側を回る火星は、約2年2か月ごとに地球に接近します。
先月4月14日に最接近を迎え、火星表面の模様を見ることが出来ましたが、徐々に距離が離れてきました。



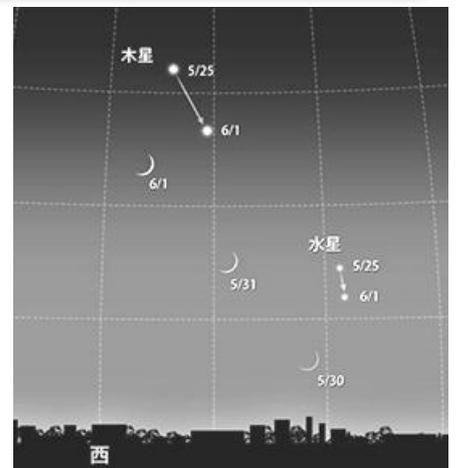
★土星

土星は、美しい環をもつことで有名な惑星で、小型の天体望遠鏡でも、その美しい姿を観察できます。
環は大きさが数cmから数十mの氷や岩の粒子から成り、環の厚さは数百mから数kmです。
また、衛星タイタンには窒素を主成分とする「大気」があることが分かっています。



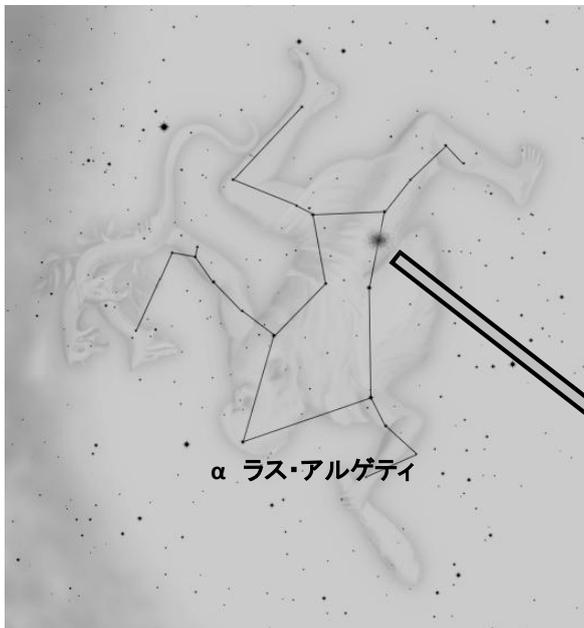
★水星も見えるかも？

太陽に最も近い水星はめったに見ることが出来ませんが、今月末から6月始めは見かけ位置が太陽から離れるため観察のチャンスです。夕暮れ時に西が開けた場所でチャレンジしてみましょう。



※天体望遠鏡の種類により、上下左右がさかさまに見えることがあります。

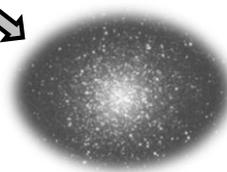
★ヘルクレス座



ヘルクレス座は夏の代表的な大きな星座ですが、明るい星が少なく、あまり目立ちません。

α星のラス・アルゲティは、天体望遠鏡で色の対比が楽しめる二重星です。明るい方がオレンジ色、もう一方が青緑色に見えると言われています。

球状星団 M13



M13は非常にたくさんの星が集まっている球状星団です。この種の星団としては、北半球では一番大きく見えます。

次回の天文教室は

6月18日(水) 20時から21時(受付19時30分から)です。



MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会